



とうぎん ゆう

東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより 第36号
令和6年3月11日
文責：菊池

3月11日「東日本大震災津波を語り継ぐ日」

「まあ、よかったな」「うん、おいしい」「おう」
「いってらっしゃい」「また、来週ね」

これらは、震災で亡くなった方々の、日常の言葉。
そして、最後の言葉。

わたしたちは、明日 何が起こるかを知ることはできない。

だから、今日3月11日、大切な人と話してください。
「ありがとう」や「ごめんね」を伝えてください。
あの日、あなたが知ったように、
明日が来るのは、当たり前ではないから。

あの日の後悔と悲しみを繰り返さないために、
3月11日を、大切な人を想い、大切な人と話す日に。

【令和2年3月11日付岩手日報より】



【映画 漂流ポストより】

自分が働いている間、
母は障がいのある私の娘を
育ててくれていた。

そんな中、母は一泊で東京へ行き、
帰ってきて私に
「(娘の世話が)大変だったでしょ？」
と声をかけてきた。

母に迷惑をかけたくない思いから、つい
「(お母さんが)いなくて(むしろ)よかった」
と言ってしまった。

母は
「そうか・・・いなくてよかったか」
これまでにいちばん悲しそうな顔をして
つぶやいた。

そして、それが最後になった。

3月11日。
仕事へ急ぐ自分に、
母が心配して
「急がずゆっくり運転して」
と言ってくれた。

ついイラっとして

「・・・」

何も言わず、顔を見ず、
怒りのままドアを強く閉めて
出ていった。

そして、それが最後になった。

←【令和6年3月11日付岩手日報より】

最後だとわかっていたなら (ノーマ・コーネット・マレック 訳：佐川 睦)

あなたが眠りにつくのを見るのが
最後だとわかっていたら
わたしは もっとちゃんとカバーをかけて
神様にその魂を守ってくださるように祈っただろう

あなたがドアを出て行くのを見るのが
最後だとわかっていたら
わたしは あなたを抱きしめて キスをして
そしてまたもう一度呼び寄せて 抱きしめただろう

あなたが喜びに満ちた声をあげるのを聞くのが
最後だとわかっていたら
わたしは その一部始終をビデオにとって
毎日繰り返し見ただろう

あなたは言わなくても わかってくれていたかもしれないけれど
最後だとわかっていたなら
一言だけでもいい・・・「あなたを愛してる」と
わたしは 伝えただろう

たしかにいつも明日はやってくる
でももしそれがわたしの勘違いで
今日で全てが終わるのだとしたら、
わたしは 今日
どんなにあなたを愛しているか 伝えたい

そして わたしたちは 忘れないようにしたい

若い人にも 年老いた人にも
明日は誰にも約束されていないのだということ
愛する人を抱きしめられるのは
今日が最後になるかもしれないことを

明日が来るのを待っているなら
今日でもいいはず
もし明日が来ないとしたら
あなたは今日を後悔するだろうから

微笑みや 抱擁や キスをするための
ほんのちょっとの時間を どうして惜しんだのかと
忙しさを理由に
その人の最後の願いとなってしまったことを
どうして してあげられなかったのかと

だから 今日
あなたの大切な人たちを しっかりと抱きしめよう
そして その人を愛していること
いつでも いつまでも大切な存在だということ
そっと伝えよう

「ごめんね」や「許してね」や「ありがとう」や「気にしないで」を
伝える時を持とう
そうすれば もし明日が来ないとしても
あなたは今日を後悔しないだろうから